

私たち立命館学園は、2020年にめざすべき方向性を「学園ビジョンR2020」として掲げます。  
人材育成および学術研究の発展という教育研究機関としての役割を果たすことを通して、社会に貢献します。

# Creating a Future Beyond Borders

# 自分を超える、未来をつくる。

人類と地球の、持続可能で豊かな未来をつくるために。  
私たちは、「教育」「研究」「社会との関わり」を通して、  
ひとりひとりがつながり、多様なコミュニティをうみだすなかで、個を高め、  
世界の課題に応える力を身につけます。  
そして、  
私たち自身の、組織の、地域や国の、制度の、さまざまな  
“Border”を超え、  
その力を発揮し、社会に貢献していきます。

## 自分を超える

自分とは、ひとりひとりの個であり、個が所属するさまざまな集まりも指しています。  
立命館学園での学びを通して、互いの価値を認め合いながら、  
それらが抱える境界や限界など既存の枠を超えて踏み出すことで  
自らの可能性をひろげていきます。

## 未来をつくる

私たちは、多様なコミュニティをつくり、つながり、新しい価値を創造しながら、  
ひとりひとりが未来の確かな力となる学園をつくります。

### 学園ビジョンR2020を実現するために

私たちは、学園ビジョンR2020で示される学園像を実現するために、

- 他者と共に生きる豊かな人間関係の創出
- 地域社会の再生・創生
- 自然・社会との協働・共生
- 新しい学問領域の創出

を学園が目指すべき、主要な方向性としします。

そして、これまで立命館学園が培ってきた"Challenge"と"Innovation"を活かし、立命館学園を跳躍台として、社会に羽ばたいていく「学習者が中心となる教育の実現」と、社会の様々な課題の解決への寄与、および研究の多様な役割を追求する「研究基盤の強化」に取り組みます。また、それを支えるために、「個を高め、社会的責任を果たす学園の創造」を進めていきます。

以下に、それらにおいて着目すべき視点を示します。

### 学習者が中心となる教育の実現

人材育成では、これまで多様な学生・生徒・児童の学びと成長のコミュニティの形成を支援し、学生・生徒・児童の学び合いの文化を培ってきました。さらに、キャンパスを越え、国境を越え、様々な連携のもと、多様な学びと成長の場を提供してきました。こうした私たちの到達点を一層高めるとともに、さらに、学生・生徒・児童のひとりひとりの視点に立ち、学ぶ主体としての実践を重視した「学習者中心の教育」に取り組みます。

- 個（ひとりひとり）を重視し、多様性を重視する学習者中心の教育の実現
- ピアサポート、学生・生徒・児童の自主的・自律的なコミュニティ形成などを通して、多様な学びと成長を支援
- キャンパスを越えた多様な社会的・国際的連携による教育の強化
- 学習者中心の連携による一貫教育の展開
- 立命館学力（確かな学力+企画力・行動力・応用力・積極性・倫理性・国際性）の構築
- 立命館アジア太平洋大学（APU）の取り組みに学ぶなど、立命館学力を保証する先進的な教育方法の創出
- 学生・生徒・児童の総合的な支援体制の構築

## 研究基盤の強化とさらなる発展の追求

学術研究では、従来の学問領域を超えた研究の融合と連携の推進、社会との連携・協力に取り組んできました。これを一層進めるとともに、人間・地域・世界・地球が直面する課題の解決へ貢献する、多様な学術研究を創出する仕組みづくりに取り組む必要があります。そのために、研究成果の公開・発信、社会への還元を進め、それを支える研究支援体制や研究基盤の強化に取り組めます。また、研究をとおした人材育成も重視します。さらに、一貫教育を進める私立総合学園として、学生・生徒・児童の学習・教育・発達を常に科学的・理論的・実践的に追求する研究に取り組めます。

- 学術研究の成果を社会に還元し、学術研究を通して社会に貢献する理念の追求
- 研究成果の世界と社会への発信
- アジア太平洋地域への貢献を目指したAPUと立命館大学の研究連携
- 学問領域の融合と連携による研究の多様化
- 社会的・国際的連携による研究の強化
- 社会の要請・期待・課題に応じた新たな領域への挑戦
- 研究をとおした人材育成と教育の高度化
- 多様な可能性に繋がる基盤研究の強化
- 理念を実現するための研究支援体制・研究基盤の強化
- 学習・教育と人間に関する研究の推進

## 個を高め、社会的責任を果たす学園の創造と運営

こうした教育・研究に取り組むうえで、私たちは、私学としての主体性を発揮し、教育研究機関としての役割と社会的責任を常に自覚し、学園創造に取り組めます。また、学園に集う人々を大切に、時間的・空間的に豊かな学園を実現することを重要な課題と位置付けます。

- 教育研究機関としての役割と社会的責任の自覚
- 学園に関わる人びとの参加・参画を活かした学園運営の推進
- 社会との連携による学園の豊富化と地域への貢献
- 公正・透明性・倫理性を重視した学園運営
- 教職員の人材育成の重視
- 時間的・空間的に豊かな学園の実現
- 私学が有する可能性・潜在力の発揮

